

## 事業実績(平成30年度)

### (1) 管理運営事業

#### ア 施設維持管理業務

男女共同参画社会実現のための実践的活動拠点として、またセンターの3つの機能(情報機能、自立促進機能、交流機能)を十分発揮できるよう、適正かつ効果的・効率的な施設の管理・運営に努めた。

また、多くの人々に親しまれ、利用しやすい施設を目指して、絵本コーナーなど親子で利用できるスペースを設けているほか、研修室や宿泊室の環境整備を行い、利用促進に努めた。

#### イ 男女共同参画目的利用促進事業

センター主催講座や男女共同参画に関するセミナー等に参加し、宿泊室を利用した方の宿泊料の負担を軽減し、男女共同参画目的での宿泊室利用の促進に努めた。

#### ウ 原子力災害避難者宿泊料助成事業

原子力災害により避難された方に宿泊料を助成し、避難により困難になっている地域コミュニティ活動の維持や地域生活における絆を深める活動を支援した。

#### エ 原子力災害避難者指示区域市町村等研修室等使用料免除事業

研修室等の使用料を免除し、原子力災害により避難指示区域とされた市町村の復興に向けた取組を支援した。

施設利用状況(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

		日数基準				
		可能室数		使用室数		利用率
平成30年4月	研修室	286	室	103	室	36.0%
	宿泊室	484	室	178	室	36.8%
平成30年5月	研修室	286	室	120	室	42.0%
	宿泊室	484	室	182	室	37.6%
平成30年6月	研修室	286	室	138	室	48.3%
	宿泊室	484	室	303	室	62.6%
平成30年7月	研修室	286	室	157	室	54.9%
	宿泊室	462	室	272	室	58.9%
平成30年8月	研修室	297	室	171	室	57.6%
	宿泊室	506	室	303	室	59.9%
平成30年9月	研修室	286	室	159	室	55.6%
	宿泊室	484	室	238	室	49.2%
平成30年10月	研修室	286	室	135	室	47.2%
	宿泊室	484	室	269	室	55.6%
平成30年11月	研修室	286	室	149	室	52.1%
	宿泊室	484	室	265	室	54.8%
平成30年12月	研修室	264	室	116	室	43.9%
	宿泊室	418	室	125	室	29.9%
平成31年1月	研修室	264	室	101	室	38.3%
	宿泊室	440	室	130	室	29.5%
平成31年2月	研修室	264	室	131	室	49.6%
	宿泊室	440	室	195	室	44.3%
平成31年3月	研修室	297	室	125	室	42.1%
	宿泊室	506	室	188	室	37.2%
合 計	研修室	3,388	室	1,605	室	47.4%
	宿泊室	5,676	室	2,648	室	46.7%

## (2) 情報関連事業

### ア 情報事業

男女共同参画についての情報、専門図書、資料などを収集・提供し、男女が新しいパートナーシップを確立するための自己啓発及び活動等を支援した。

また、情報ネットワークの充実を図るとともに、県外男女共同参画施設の協力を得て、県外の避難者へも広報紙が閲覧できるようにしたほか、広く情報を発信した。

#### (ア) 図書室運営

図書室において、男女共同参画社会形成の促進に寄与する図書や資料等約4万点を備え、閲覧及び貸出により利用に供した。

内 容	・購入図書・資料の選定 平成30年度購入図書 236冊 ・図書・資料の収集、分類、整理 図書等貸出利用者数 延べ 1,744人 図書等貸出冊数 延べ 4,211冊(うちDVD等20点) ・レファレンスサービスなど レファレンスサービス件数 延べ 879件 インターネット利用者数 延べ 480件
-----	--

#### (イ) 情報提供

センターの活動内容をはじめとする男女共同参画に関する情報を、ホームページ及びメールマガジン(月1回発行)により提供した。

内 容	・センターホームページアクセス件数 延べ 191,145件 ・センターメールマガジン配信件数(月1回) 936件 (31年3月末現在)
-----	---

#### (ウ) 広報活動

男女共同参画の考え方や、センターの活動内容について、広報誌「未来館 NEWS」を発行し紹介するとともに、県政広報その他各種媒体を活用し、普及啓発・周知を図った。

内 容	広報誌「未来館 NEWS」第67号～70号発行 各7,000部 県内の図書館、公民館、高等学校、市町村担当課、各都道府県担当課、全国の男女共同参画施設及び被災者支援団体などに送付
-----	--

### イ 調査研究事業

男女共同参画社会の形成を推進するため、現状を把握し、問題解決への道を探るための調査研究を行った。

#### (ア) 地域課題調査・研究事業

県内の男女共同参画を推進するために重要な地域の課題やその解決方法について調査・研究を公募し、実施した。

内 容	(1)『デートDV 10代のあなたに贈るDV読本』(改訂版)の作成と読本を用いた高校生及び大学生に向けたDV予防教育の実
-----	--

	施」 研究代表者：安部郁子氏（福島大学人間発達文化学類 特任教授） (2) 「福島県における乳幼児を持つ父親の育児の現状と支援対策」 研究代表者：吉田和樹氏（福島県立医科大学大学院医学研究科 国際地域保健学 大学院生）
--	--

(イ) 自主研究

センター事業を進める際の基礎資料となるデータを収集するための調査を行った。

内 容	「福島県の高校生のジェンダー環境に関する調査」 調査結果を集計し、報告書を作成した。
-----	---

(3) 自立促進事業

ア 普及啓発事業

男女共同参画に関する講座や講演会などを開催し、男女平等に向けた意識変革をしながら、男女が互いに個人として自立し、責任を担う力をつけて共に社会参画できるよう支援した。

事業名	男女共生地域連携意見交換会
対象者	自治体・企業の女性活躍促進担当者
内 容	男女共同参画社会の実現に向け、県民の意識の醸成や地域特有の課題等解決の糸口を探るため、企業の担当者と館長とが、意見交換を行った。 (1) 未来館トークサロン in 伊達 開催日：平成30年6月29日（金） 会 場：伊達市役所 保原本庁舎 内 容：企業における女性の活躍促進や男性の働き方の見直しなどをテーマとし、互いの活動や取組等を話し合いました。 参加者：6名 共 催：伊達市 (2) 未来館トークサロン in 須賀川 開催日：平成30年7月20日（金） 会 場：須賀川市役所 会議室 内 容：企業における女性の活躍促進や男性の働き方の見直しなどをテーマとし、互いの活動や取組等を話し合いました。 参加者：7名 共 催：須賀川市

事業名	未来館次世代スクールプロジェクト
対象者	県内小学生、中学生、高校生

内 容	<p>県内小・中・高校と連携し、互いの性と人権を尊重することの大切さや自分らしさを発揮する大切さを考えるための連携授業を実施した。(実施校13校、実施回数18回、参加者1,909名)</p> <p>○連携授業</p> <p>(1) 福島県立安達東高校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：平成30年6月29日(金)</li> <li>参加者：2年生(71名)、教職員(3名)</li> <li>内 容：デートDVについて</li> <li>講 師：センター職員</li> </ul> </li> <li>・第2回 <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：平成31年1月10日(木)</li> <li>参加者：3年生(52名)、教職員(3名)</li> <li>内 容：ハラスメントについて</li> <li>講 師：センター職員</li> </ul> </li> <li>・第3回 <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：平成31年1月24日(木)</li> <li>参加者：1年生(59名)、教職員(3名)</li> <li>内 容：性差に捉われない職業選択</li> <li>講 師：センター職員</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 福島県立須賀川桐陽高等学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：平成30年7月17、18日(火、水)</li> <li>参加者：2年生(221名)、教職員(9名)</li> <li>内 容：デートDVについて</li> <li>講 師：センター職員</li> </ul> <p>(3) 福島県立塙工業高等学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：平成30年7月19日(木)</li> <li>参加者：1年生(38名)、教職員(6名)</li> <li>内 容：デートDVについて</li> <li>講師：センター職員</li> </ul> <p>(4) 福島県立平工業高等学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：平成30年9月13日(木)</li> <li>参加者：教職員(59名)</li> <li>内 容：LGBTについて</li> <li>講 師：センター職員</li> </ul> </li> <li>・第2回 <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：平成30年9月21日(金)</li> <li>参加者：1年生(228名)、教職員(8名)</li> <li>内 容：LGBTについて</li> </ul> </li> </ul>
-----	--

	<p>講 師：センター職員</p> <p>(5) 南会津町立南会津中学校  開催日：平成30年11月1日(木)  参加者：1～3年生(55名)、教職員(8名)  内 容：LGBTについて  講 師：センター職員</p> <p>(6) 福島県立会津工業高等学校  開催日：平成30年12月12、13日(水、木)  参加者：3年生(210名)、教職員(9名)  内 容：ハラスメントについて  講 師：センター職員</p> <p>(7) 福島県立安達高等学校  ・第1回  開催日：平成30年12月14、19、20日(金、水、木)  参加者：1年生(151名)  内 容：LGBTについて  講 師：センター職員  ・第2回  開催日：平成31年2月26、27日(火、水)  3月4、5日(月、火)  参加者：2年生(236名)、教職員(7名)  内 容：デートDVについて  講 師：センター職員</p> <p>(8) 福島県立いわき海星高等学校  開催日：平成30年12月17日(月)  参加者：1年生(126名)、教職員(5名)  内 容：デートDVについて  講 師：センター職員</p> <p>(9) 福島県立会津学鳳中学校  開催日：平成31年2月1日(金)  参加者：3年生(79名)、教職員(4名)  内 容：LGBTについて  講 師：センター職員</p> <p>(10) 郡山市立日和田小学校  開催日：平成31年2月27日(水)  参加者：6年生(73名)、教職員(6名)  内 容：違いについて  講 師：センター職員</p> <p>(11) 会津若松市立北会津中学校  開催日：平成31年2月28日(木)</p>
--	---

	<p>参加者：2年生（62名）、教職員（5名）</p> <p>内 容：違いについて</p> <p>講 師：センター職員</p> <p>（12）福島県立福島工業高等学校</p> <p>開催日：平成31年3月15、18日（金、月）</p> <p>参加者：機械科、環境化学科2年生（77名）、教職員（2名）</p> <p>内 容：LGBTについて</p> <p>講 師：センター職員</p> <p>○出前講座</p> <p>ふれあい合宿すぎのめこども宿（福島市杉妻学習センター）</p> <p>開催日：平成30年7月26日（木）</p> <p>参加者：小学5、6年生（34名）</p> <p>内 容：違いについて</p> <p>講 師：センター職員</p>
--	---

事業名	女性の人権啓発事業
対象者	県民
内 容	<p>離婚を考えている女性を対象に具体的かつ現実的にその後の人生設計を提示することで、自分らしく生きていくための自立心を養う講座を実施した。</p> <p>開催日：平成30年11月23日（金）</p> <p>講 師：菅波 香織氏（いわき法律事務所）</p> <p>大川 幸子氏（ファイナンシャルプランナー：NPO 法人いわき FP・e-らいふ）</p> <p>内 容：離婚の基礎知識や生活設計について</p> <p>参加者：19名</p>

事業名	未来館シネマ・アート発信事業 ※自主
対象者	県民
内 容	<p>県民に広く訴えるために効果的な視聴覚的手法である映画の上映を通じて「男女共同参画とは何か」を考える場を県民に提供するため、福島こどものみらい映画祭実行委員として企画・運営等に協力した。</p>

事業名	女性も男性も輝く未来づくりシンポジウム
対象者	県民
内 容	<p>女性が活躍できる環境づくりを進めるためには、トップの意識が重要であることから、「ふくしま女性活躍応援会議」構成団体の長や県内企業・団体・市町村の長及び応援会議構成団体の加盟企業等の管理職等を対象としたシンポジウム及びフォローアップセミナーを開催し</p>

	<p>た。</p> <p>○シンポジウム</p> <p>開催日：平成30年8月2日（木）</p> <p>会 場：福島県男女共生センター</p> <p>参加者：256名</p> <p>内 容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演「誰もが活躍できる職場で、利益と笑顔がアップ」</li> </ul> <p>講師：川島 高之氏（NPO 法人ファザーリング・ジャパン理事、NPO 法人コヂカラ・ニッポン代表）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トークセッション</li> </ul> <p>コーディネーター：川島 高之氏</p> <p>出演者：内堀 雅雄（福島県知事）</p> <p style="padding-left: 40px;">北村 清士氏（株式会社東邦銀行取締役頭取）</p> <p style="padding-left: 40px;">福山 知子氏（カルビー株式会社執行役員）</p> <p>○フォローアップセミナー</p> <p>開催日：平成30年11月14日（水）</p> <p>会 場：福島県男女共生センター</p> <p>参加者：28名</p> <p>内 容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例発表</li> </ul> <p style="padding-left: 40px;">（1）株式会社ナプロアース 常務取締役 川崎 真奈美氏 【福島県】</p> <p style="padding-left: 40px;">（2）有限会社菅原運送 執行役員 菅原 真実氏 【山形県】</p> <p style="padding-left: 40px;">（3）株式会社ユーメディア 取締役 今野 彩子氏 【宮城県】</p>
--	---

事業名	パネル展 ※自主
対象者	県民
内 容	<p>○男女共同参画週間パネル展「わたしに合った暮らし・働き方」</p> <p>男女共同参画週間（6/23～6/29）に併せて、ワーク・ライフ・バランスに関する県内企業の具体的な取組事例や、イクボスに関する情報などをまとめたパネルを作成、展示した。</p> <p>・開催日：平成30年6月2日（土）～6月30日（土）</p>

事業名	男女共同参画普及啓発移動展示事業 ※新規、自主
対象者	県内自治体、企業・団体等
内 容	市町村等が行うイベントにおいて男女共同参画に関するパネル展示及びアンケート調査等を行い、普段、男女共同参画に触れる機会の



	<p>少ない住民等に対し、広く男女共同参画意識の普及啓発を図りました。</p> <p>○平田村 開催日：平成30年10月28日(日) アンケート回収：122件</p> <p>○南会津町 開催日：平成30年11月2日(金) アンケート回収：208件</p> <p>○中島村 開催日：平成30年11月3日(土) アンケート回収：74件</p> <p>○国見町 開催日：平成30年11月4日(日) アンケート回収：179件</p>
--	--

事業名	交流室ロッカー・交流展示スペース管理運営
対象者	県民
内 容	<p>男女共同参画の推進を目的とした団体等に対し、活動の支援や成果物を発表することを目的にロッカーと展示スペースを提供した。また、男女共同参画週間や男女共同参画の啓発のための展示を行った。</p> <p>(1) 交流室ロッカー貸出件数 7件</p> <p>(2) 交流展示スペース貸出件数 4件</p>

#### イ 研修事業

男女共にその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会に向け、家庭や仕事、地域活動などの生活のあらゆる場面においてその実現を阻害する固定的性別役割分担意識を解消するための事業や、男女のライフスタイルや社会情勢の変化に伴い多様化する課題・ニーズに合わせ個人が自発的に課題解決を図ることができるようにエンパワーメントする事業を開催した。

事業名	未来館エンパワーメント塾
対象者	働いている（これから働きたい）女性
内 容	<p>女性活躍を推進するため、女性が職場や地域でリーダーになることを前向きに捉え、自身の能力・スキルに自信を持って活躍できるよう女性の人材育成を図るためのセミナーを開催した。</p> <p>「働き女子のごほうびセミナー～これからも働き続けたい人が知っておくべき5つのこと～」</p> <p>○第1日 開催日：平成30年9月29日(土) 参加者：20名 内 容：「自己主張（アサーティブ）トレーニング」</p>

	<p>講 師：丹羽 麻子氏 (NPO 法人日本フェミニストカウンセリング学会認定カウンセラー)</p> <p>○第2日</p> <p>開催日：平成30年10月13日 (土)</p> <p>参加者：9名</p> <p>内 容：「私が管理職になった理由 (ワケ) &amp; 交流会」</p> <p>ゲスト：佐々木 まゆみ氏 (タカラ印刷株式会社営業部長)</p> <p>星野 雅子氏 (株式会社 Miyabi 代表取締役社長)</p> <p>コーディネーター：千葉 悦子 (福島県男女共生センター館長)</p> <p>○第3日</p> <p>開催日：平成30年10月27日 (土)</p> <p>参加者：9名</p> <p>協 力：女性就業支援全国展開事業</p> <p>内 容：「安心して働くために！これだけは知っておきたい女性のための労働法基礎」</p> <p>講 師：八巻 裕香氏 (特定社会保険労務士)</p> <p>○第4日</p> <p>開催日：平成30年10月27日 (土)</p> <p>参加者：13名</p> <p>内 容：「ストレスを乗り越える マインドフルネス体験&amp;交流会」</p> <p>講 師：大田 健次郎氏 (マインドフルネス瞑想療法士)</p> <p>○第5日</p> <p>開催日：平成30年11月10日 (土)</p> <p>参加者：16名</p> <p>内 容：「自己分析～まずは自分を知ることから」</p> <p>講 師：星野 雅子氏 (女性労働協会認定講師、日本サービスマナー協会講師)</p>
--	--

事業名	男性のための男女共同参画基礎講座 ※一部新規
対象者	県民
内 容	<p>男女が、年齢や性別に関わらずさまざまな分野で活躍するため、男女共に職場や家庭、地域において、男女共同参画の視点による、「仕事と生活の調和」(WLB:ワーク・ライフ・バランス)の取れた生き方について考える機会を提供し、企業や個人の課題解決・実践を支援した。</p> <p>○イクボス養成講座</p> <p>開催日：平成30年7月5日 (木)</p> <p>会 場：ビッグパレットふくしま 中会議室 (A)</p> <p>講 師：</p>

	<p><b>【講演】</b> 横田 智史氏 (NPO 法人ファザーリング・ジャパン東北代表理事、(株) ペンギンエデュケーション代表取締役)</p> <p><b>【事例発表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戸田 満紀子氏 (東邦銀行ダイバーシティ推進・パートナー支援課長)</li> <li>・高橋 利男氏 (タカラ印刷株式会社 常務取締役)</li> </ul> <p>内 容：講演及び実践企業による事例発表等</p> <p>参加者：51名</p> <p>○男性のための男女共同参画基礎講座「父子の料理教室」</p> <p>開催日：平成30年12月15日(土)</p> <p>会 場：福島県男女共生センター</p> <p>講 師：渡辺 真夏氏 (イタリア料理教室「ブォナ・フォルケッタ」主宰)</p> <p>内 容：男性の家事育児参画支援を目的とした料理教室</p> <p>参加者：9組/19名</p>
--	---

事業名	女性のチャレンジ応援講座
対象者	就職・再就職を希望する女性(育児・介護などのために離職している女性等)
内 容	<p>育児・介護などのために離職している女性等を対象に、これから仕事を始めるための準備として役立つ知識や技術を習得する講座を開催した。</p> <p>○第1回 将来の自分のキャリアプランとマネープラン</p> <p>開催日：平成31年2月22日(金)</p> <p>参加者：11名</p> <p>内 容：自分や家族の生活にかかるマネープランや、自分の将来に向けたキャリアプランについて考えました。</p> <p>講 師：宍戸 美香氏 (ファイナンシャルプランナー、住宅ローンアドバイザー)</p> <p>○第2回 自己理解と私のライフプラン</p> <p>開催日：平成31年3月1日(金)</p> <p>参加者：12名</p> <p>内 容：今までの仕事や育児などの経験からの気づきや自己理解を深め、ライフプランを考えた。</p> <p>講 師：重巢 敦子氏 (リファインアカデミー株式会社 代表)</p> <p>○第3回 面接の心構えと実践準備</p> <p>開催日：平成31年3月8日(金)</p> <p>参加者：7名</p> <p>内 容：実際の面接を想定した事前準備や心構えについて実践を行</p>

	<p>った。</p> <p>講 師：重巢 敦子氏（リファインアカデミー株式会社 代表）</p> <p>※第1～3回の会場は、須賀川市役所会議室</p>
--	---

事業名	教師のための次世代育成人権セミナー
対象者	県内の教職員、教育事務所並びに市町村教育委員会・男女共同参画推進部局の関係者、一般（第一回のみ）
内 容	<p>教職員等を対象とし、人権や男女共同参画の正しい認識を深めるとともに、児童生徒への指導実践に資する講座を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 講演会 <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：平成30年8月3日（金）</li> <li>参加者：70名</li> <li>内 容：「学校現場における LGBT の児童生徒への対応について」</li> <li>講 師：中光 理恵 氏（千葉県柏市立西原小学校 教頭）</li> </ul> </li> <li>・第2回 教職員向け研修会 <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日：平成30年8月22日（水）</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;午前の部&gt;</p> <p>参加者：11名</p> <p>内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○講義1「学校における男女共同参画」 <ul style="list-style-type: none"> <li>講師：福島県男女共生センター 職員 宮田 治子</li> </ul> </li> <li>○講義2「公開授業実施の目的と授業づくりのポイント」 <ul style="list-style-type: none"> <li>講師：岩淵 優子氏（福島県教育委員会高校教育課指導主事）</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;午後の部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○講話1・2「公開授業実施から見えたこと、伝えたいこと」 <ul style="list-style-type: none"> <li>講師1：増子 英昭氏（天栄村立天栄中学校教諭）</li> <li>講師2：橋本 葵氏（福島県立二本松工業高等学校教諭）</li> </ul> </li> <li>○研究協議会 <ul style="list-style-type: none"> <li>講師 <ul style="list-style-type: none"> <li>岩淵 優子氏（福島県教育委員会高校教育課指導主事）</li> <li>増子 英昭氏（天栄村立天栄中学校教諭）</li> <li>橋本 葵氏（福島県立二本松工業高等学校教諭）</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>※福島県教育委員会との共催事業として開催した。</p>

事業名	未来館ボランティアセミナー
対象者	県民
内 容	<p>(1) ボランティアセミナー</p> <p>ボランティアのスキルアップのため、スマホ・デジカメでの映える写真の取り方について研修を実施した。</p>

	<p>開催日：平成31年3月9日（土）</p> <p>参加者：30名</p> <p>内 容：「写真の基本について、構図や光源について等」</p> <p>講 師：柳田 利美氏（柳田利美写真事務所）</p> <p>(2) ボランティアのつどい</p> <p>ボランティアのより良い活動を考える場として、意見交換を行った。</p> <p>開催日：平成31年3月26日（火）</p> <p>参加者：12名</p>
--	--

事業名	研修講師派遣事業 ※一部新規
対象者	県民
内 容	<p>市町村、企業や NPO 等の市民団体が実施する男女共同参画を推進する研修及び学習会等に当センター職員等を派遣するほか、外部講師の情報提供を行うなど、地域における男女共同参画社会実現に向けた取組を支援した。</p> <p>(1) 職員派遣 派遣回数：4回（参加者数：59名）</p> <p>(2) アドバイザー派遣 派遣回数：7回（参加者数：252名）</p>

事業名	市町村男女共同参画担当者研修
対象者	市町村担当者
内 容	<p>(1) 市町村男女共同参画担当者研修</p> <p>開催日：平成30年6月1日（金）</p> <p>参加者：25名（20市町村22名、2地方振興局3名）</p> <p>内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基調講義「男女共同参画社会って何？」 講 師：千葉 悦子（男女共生センター館長）</li> <li>○県の取組等 講 師：遠藤 渉氏（県生活環境部男女共生課主事）</li> <li>○福島県男女共生センター事業紹介 担 当：センター職員</li> <li>○講話「男女ともに輝く働きやすい環境づくりへ」 講 師：星野 雅子氏（株式会社 Miyabi 代表取締役社長、女性労働協会認定講師、日本サービスマナー協会講師）</li> <li>○グループトーク 内容：女性活躍推進のための事業実施に役立つ話し合い 等</li> </ul>

	<p>担当：星野 雅子氏</p> <p>(2) 市町村男女共同参画担当者会議</p> <p>開催日：平成31年2月6日(水)</p> <p>参加者：29名(25市町村28名、1地方振興局1名)</p> <p>内 容：</p> <p>○福島県男女共生課からのお知らせ</p> <p>担 当：遠藤 渉氏(県生活環境部男女共生課主事)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村男女共同参画プラン策定状況</li> <li>・30年度事業報告、31年度事業計画 等</li> </ul> <p>○福島県男女共生センターからのお知らせ</p> <p>担 当：センター職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・30年度事業報告、31年度事業計画 等</li> </ul> <p>○市町村の取組紹介</p> <p>報告者：香野 さかえ氏(福島市男女共同参画センター所長)</p> <p>○講 演：「人が集まる！行列ができる！講座、イベントの作り方」</p> <p>講 師：坂田 静香氏(NPO 法人男女共同参画おおた理事長、NPO 法人全国女性会館協議会事務局長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画した講座が定員オーバーとなった実践事例をもとに、男女共同参画を推進するための事業企画のポイント等を学んだ。</li> </ul> <p>※(1)、(2)とも福島県との共同主催。</p> <p>※(2)は、「男女共生を進めるための住民力向上事業」と併せて開催した。</p>
--	--

事業名	男女共生を進めるための住民力向上事業
対象者	市町村担当者、男女共同参画社会推進のために活動している団体・個人
内 容	<p>男女共同参画社会の推進のために地域で活動している、あるいは今後活動しようとしている団体等を育成・支援するため、事業企画等に役立つ講座を実施した。</p> <p>開催日：平成31年2月6日(水)</p> <p>参加者：56名</p> <p>内 容：</p> <p>○講 演：「人が集まる！行列ができる！講座、イベントの作り方」</p> <p>○講 師：坂田 静香氏(NPO 法人男女共同参画おおた理事長、NPO 法人全国女性会館協議会事務局長)</p> <p>※市町村担当者会議と併せて実施した。</p>

事業名	復興・防災と男女共同参画に関する人材育成事業
対象者	自治体職員、社会福祉協議会職員
内 容	<p>(1) 男女共同参画の視点からの防災研修  「男女共同参画の視点からの防災研修プログラム」(内閣府男女共同参画局作成)を用いて、地域における復興・防災における男女共同参画の推進を担う人材育成研修を行った。</p> <p>講 師：坂田 静香氏 (NPO 法人男女共同参画おおた理事長)  開催日：平成30年11月7日(水)  参加者：21名</p> <p>※研修カリキュラムは、以下のとおり。</p> <p>【セッション1】座学  災害に強い地域社会づくりのため、政策・方針決定過程への女性の参画や男女共同参画視点が不可欠であることを学んだ。(市町村地域防災計画に男女共同参画の視点導入の必要性について触れる内容等を含む)</p> <p>【セッション2】グループワーク  被災時の課題を記したシチュエーションシートを用いてグループで話し合った。</p> <p>【セッション3】グループワーク  男女共同参画視点からの防災について、行政における現在の課題や解決策を話し合った。</p> <p>【まとめ】  研修内容に触れながら男女共同参画視点の重要性を確認、振り返りの意見交換やアンケート記入を行った。</p> <p>(2) 多様性配慮の視点での防災・減災  地域防災組織等メンバーを対象として、男女共同参画及び多様性配慮の視点による防災ワークショップ等を行った。</p> <p>担 当：センター職員  開催日：平成31年2月13日(水)  参加者：13名</p>

事業名	未来館 WLB・女性活躍サポート事業 ※新規、自主
対象者	<p>(1) 健康づくりに関心のある県民  (2) 起業及びセミナー等講師を始めたい女性</p>
内 容	<p>ワーク・ライフ・バランスの推進に関する講座を開催した。また、起業したい女性やセミナー等講師として活躍したい女性の支援を行った。</p> <p>(1) 未来館“きらり”講座「カラダのバランス改善！ヨガ講座」</p>

	<p>ワーク・ライフ・バランスの推進に資する健康づくりのため、全5回のヨガ講座を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第Ⅰ期：平成30年6月21日～7月19日の毎週木曜日</li> <li>・第Ⅱ期：平成30年11月15日～12月13日の毎週木曜日</li> </ul> <p>参加者：116名（第Ⅰ期68名、第Ⅱ期48名） 講師：長山 のり子氏（ヨガインストラクター）</p> <p>(2) 講師デビュー支援事業</p> <p>起業及びセミナー等講師を始めたい女性が主催するセミナー等について、センター会場の提供、広報の協力、セミナーの運営協力を行った。</p> <p>採用件数：3件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① “自分流” お片づけセミナー 講師：鈴木 由佳氏（お片づけ時短コンサルタント、整理収納アドバイザー、生前整理アドバイザー）</li> <li>② ココロとカラダの癒し講座 講師：宮谷 理恵氏（ピラティスエグゼクティブインストラクター、ハーバリウム認定講師）</li> <li>③ チェアヨガ講座 講師：Hiromi 氏（チェアヨガ・ステップウォークヨガ・ピフティラティス講師）</li> </ul>
--	--

事業名	避難地域の復興を支える女性の活躍推進事業 ※新規
対象者	避難地域で活動していた女性、帰還して活動している女性、避難先で活動している女性、NPO 等で避難者を支援している女性 等
内 容	<p>避難地域の復興と再生を進めるために活躍する女性リーダー育成を目的として、地域コミュニティづくりをテーマとした研修(全6回)を実施した。(なお、各回の内容等への助言、進行・ファシリテートをコーディネーターに依頼して実施した。)</p> <p>○コーディネーター ※所属等は依頼当時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北村 育美氏（福島大学経済経営学類「ふくしま未来 食・農教育プログラム」研究員）</li> <li>・新田 真由子氏（ふくしま未来学(COC) 推進室事務局 地域コーディネーター）</li> </ul> <p>(1) 第1回 事前学習 開催日：平成30年7月7日（土） 会 場：福島県産業交流館「ビッグパレットふくしま」研修室 参加者：28名 内 容：地域コミュニティづくりについての講演会等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①講演「地域づくりに携わった学生の実践事例から～湯川</li> </ul>



村等での取組～」(60分)

講師：岩崎 由美子氏(福島大学行政政策学類教授)

②受講者顔合わせ(自己紹介等、30分)

(2) 第2回 現地視察

開催日：平成30年8月5日(日)

会場：①郡山市富田町若宮前応急仮設住宅 A集会場  
②富岡町文化交流センター、富岡町内(バス視察)

参加者：13名

内容：被災者支援や復興のための活動をしている団体・グループの方の話聞き、コミュニティづくりの現状や課題を見出すため、講話及び現地視察を行った。

講師：①吉田 晶子氏(富岡町社会福祉協議会郡山支所)  
②青木 淑子氏(NPO 法人富岡町3.11を語る会代表)

(3) 第3回 グループワーク①

開催日：平成30年8月26日(日)

会場：郡山商工会議所

参加者：12名

内容：2班に分かれ、第5回模擬実践に向け、現地視察で見えてきた課題等について、その解決方法を話し合った。

(4) 第4回 グループワーク②

開催日：平成30年10月14日(日)

会場：郡山商工会議所

参加者：12名

内容：前回の課題等について吟味・検討し、課題解決のためのアイデアを出し合い、第5回模擬実践会場に掲示する展示品として作成した。

(5) 第5回 模擬実践

開催日：平成30年11月11日(日)

会場：富岡町社会福祉協議会

参加者：10名

内容：富岡町社会福祉協議会主催「福祉まつり」に出展し、模擬実践活動(これまでの研修成果の展示及び来場者へのヒアリングや意見交換等)を行った。

(6) 第6回 成果発表・振り返り

開催日：平成30年12月2日(日)

会場：富岡町文化交流センター

参加者：9名

内容：これまで5回実施したセミナーについての成果発表及び振り返りを各班・個人で行った。

	<p>※コメンテーター：</p> <p>①吉田 晶子氏（富岡町社会福祉協議会郡山支所）</p> <p>②青木 淑子氏（NPO 法人富岡町 3.11 を語る会代表）</p>
--	---

事業名	男性・子どもの生活自立支援事業 ※新規
対象者	働く母親を持つ父親と子ども（小学4～6年）
内 容	<p>父親と子どもが基本の調理スキルを身につけ、日常の食事がつくれるようになることをめざし、食事づくりワークショップを開催した。</p> <p>開催日：平成30年7月28日（土）</p> <p>参加者：8組（父親8名、子ども8名）</p> <p>内 容：食事づくりワークショップ「お父さんといっしょに食を考えよう」</p> <p>講 師：山際 博美氏（料理研究家、ふくしま応援シェフ）</p>

#### ウ 相談事業

男女が自立し、生き生きとして生きがいのある人生を送ることができるよう、日常生活から生じる様々な問題や悩みに関する相談や、配偶者からの暴力（ドメスティックバイオレンス）に関する相談及びこれらに関する情報提供を行った。

事業名	一般相談
対象者	県民
内 容	<p>性別にとらわれず生き生きと生きていくために、広く生活全般に係る相談を行った。</p> <p>相談内容：広く生活全般に関する相談 配偶者等からの暴力に関する相談 男性相談員による相談</p> <p>相談方法：電話・面接</p> <p>相 談 員：男女共生相談員（嘱託職員）2名、男性相談員1名</p> <p>相談件数：1, 380件</p>

事業名	専門相談
対象者	県民 ※カウンセリングは女性限定
内 容	<p>法律問題や健康に関することについて、専門家による相談を行った。</p> <p>相談内容：法律相談（月1回、2時間）相談件数 12件 健康相談「女性による女性のためのカウンセリング」（月2回、各回一人1時間程度） 相談件数 12件</p> <p>相談方法：面接（予約制）</p>

	相 談 員：法律相談 弁護士 健康相談（カウンセリング） 女性臨床心理士
--	---

事業名	チャレンジ支援相談
対象者	内職や就業（再就職）を希望する女性
内 容	<p>内職希望者からの相談や内職求人受付、あっせんを行うほか、女性の就業援助に関する相談、情報提供を行った。</p> <p>相談方法：電話・面接</p> <p>相 談 員：女性就業援助相談員（嘱託職員4名）</p> <p>※配置個所 男女共生センター及び県内3ヶ所（郡山、会津若松、いわきの県地方振興局内）に相談コーナーを設置</p> <p>相談件数：1,889件</p> <p>内職あっせん者数：367名</p>

#### エ 介護実習・普及センター事業

高齢者介護の実習等を通じて、地域住民への基礎知識、介護技術の普及を図るとともに、「高齢化社会は国民全体で支えるもの」という考え方を地域住民に広く啓発する事業を実施するほか、福祉用具の展示並びに住宅改修を含めた相談体制の整備等を行った。

事業名	介護実習・普及事業
対象者	県民、介護専門職員
内 容	<p>介護の実習等を通じて、県民への介護知識、介護技術の普及を図るため、社会福祉法人福島県社会福祉協議会に業務を委託して各種講座等を実施した。</p> <p>(1) 県民介護講座の実施</p> <p>初級介護講座、認知症介護セミナー、介護ワンポイント講座、介護実技基本講座、オーダーメイド介護講座、認知症サポーターキャラバン関連研修、各種イベント等への参加（高齢者疑似体験・車イス体験等）</p> <p>実施講座数：67回、67日</p> <p>参加者数：2,215名</p> <p>(2) 地域介護専門職員研修の実施（介護専門職員を対象）</p> <p>地域アセスメント研修、企画力アップ研修、相談援助面接研修、福祉用具研修、住宅改修研修、排泄ケア研修、ピンポイント介護研修</p> <p>実施講座数：17回、30日</p> <p>参加者数：371名</p> <p>(3) 介護セミナー（介護の日記念フォーラム2018）</p> <p>開催日：平成30年12月8日（土）</p>

	<p>参加者数：292名</p> <p>内容：</p> <p>①講演「生涯のたのしみ！～口から食べる幸せ～お口のケアと健康」</p> <p>②「介護」に関する県民参加企画</p> <p>運営協力：一般社団法人福島県介護福祉士会、福島県福祉人材センター</p> <p>ア：実際に、食べて、飲んで、感じてみよう！</p> <p>イ：安全な移動介助とその方法（介護実技基本講座）介護よろ</p> <p>ず相談コーナー</p> <p>ウ：介護予防～自分の身体を知ろう！インボディ体験～</p> <p>エ：心とからだのリフレッシュ！癒しのフットケア体験</p> <p>オ：福祉・介護のお仕事相談コーナー</p> <p>(4) 福島県介護研修事業検討委員会の開催</p> <p>平成30年12月20日（木）</p>
--	---

事業名	福祉用具・住宅改修普及支援事業
対象者	県民
内 容	<p>(1) 福祉機器展示室の運営</p> <p>福祉機器展示室において、各種用具（736点）を展示するとともに、福祉機器企画相談員（嘱託職員2名）を配置し、一般県民からの福祉用具・住宅改修に関する相談を受け、助言指導を行った。</p> <p>なお、平成30年6月から介護支援ロボットの展示を行った。</p> <p>来所者数：4,446名</p> <p>相談件数：511件（相談内容件数628件）</p> <p>相談内容：移動機器（102件）、パーソナルケア関連（121件）</p> <p>(2) 福祉用具・住宅改修普及支援協議会の開催</p> <p>福祉用具・住宅改修の普及事業の円滑な実施を図るため、理学療法士、作業療法士、建築士、福祉用具取扱業者、行政関係者からなる協議会を開催し、優良な機器の選考・展示方法及び住宅改修相談等について検討を行った。</p> <p>平成30年12月20日（木）</p>

#### (4) 交流関連事業

##### ア 交流関連事業

県民が、主体的に男女共同参画についての問題に取り組む実践的活動拠点としての機能を発揮するため、自主的な交流の場として男女共生センターを提供するとと

もに、男女の平等と自立を目指す個人や様々な団体・グループ間の相互交流を促進するための事業を実施した。

事業名	未来館ネットワーク推進プログラム
対象者	県民
内 容	<p>男女共同参画社会の意識啓発を図るとともに、県民相互の交流を促進するため、未来館ネットワーク推進プログラム（未来館フェスティバル）を開催した。</p> <p>開催日：平成30年9月1日（土）・2日（日）</p> <p>参加者：延べ4,905名</p> <p>内 容</p> <p>(1) シンボルイベント（1日）</p> <p>内 容：講演「働く人を幸せに～サイボウズが『100人100通り』の働き方ができるようになった理由～」</p> <p>講 師：青野 慶久氏（サイボウズ株式会社代表取締役社長）</p> <p>参加者：169名</p> <p>(2) 未来館ネットワークカフェ（1日）</p> <p>内 容：県内の団体、自治体職員等による情報交換、交流</p> <p>参加者：45名</p> <p>(3) 県民参加企画（1日）</p> <p>内 容：県民が自主的に企画・運営を行った活動紹介、パネルディスカッション、ワークショップ、パネル展示等</p> <p>出展数：22企画</p> <p>(4) 認知症介護セミナー（2日）</p> <p>※福島県社会福祉協議会主催</p> <p>(5) イベント、センター自主企画等（1日、2日）</p>

事業名	男女共生次世代交流会
対象者	県内で土木・建設を学んでいる女子学生
内 容	<p>若者世代を対象としてあらゆる分野における女性の参画などのテーマで意見交換会等を実施し、男女共同参画の考え方を学ぶ機会を提供した。</p> <p>「ふくしま“けんせつ・どぼく女子”座談会」</p> <p>内 容：県内の建設・土木会社で働く女性から、仕事の魅力・やりがいや一日の生活の様子などを聞き、また、働く女性を交えた意見交換を行いながら、女性が建設・土木業界で働く意欲の向上や、学生同士のネットワークづくりを行った。</p> <p>(1) 郡山会場</p> <p>開催日：平成30年12月12日（水）</p>

	<p>会 場：福島県立郡山北工業高等学校          参加者：20名</p> <p>(2) いわき会場          開催日：平成30年12月13日(木)          会 場：福島県立勿来工業高等学校          参加者：35名</p> <p>(3) 会津会場          開催日：平成30年12月19日(水)          会 場：福島県立会津工業高等学校          参加者：36名</p>
--	--

事業名	男女共同参画実践支援事業 (男女共生を進めるための県民企画応援事業) ※自主
対象者	県内で活動中または活動予定のグループ・団体
内 容	<p>県内の NPO 等のグループが主体となって自主的に企画・実施する講座やワークショップ等を公募して、センターが企画・広報・チラシ作成の協力、会場・設備等の提供、運営協力等の支援を行いました。</p> <p>採択件数：6件          採択企画(団体)：</p> <p>①県北転入女性対象「WELCOME ワークショップ」          (bel*fonte (ベルフォンテ))</p> <p>②学習会「&lt;食と農をひらく&gt;女性たちー原発事故後の福島から」(「&lt;食といのち&gt;をひらく女性たち」福島学習会実行委員会)</p> <p>③ワークショップ「自己尊重トレーニング」          (NPO 法人ウィメンズスペースふくしま)</p> <p>④ばらの花咲く Anne flower cake を作りませんか?          (公益財団法人日本 YWCA YWCA 活動スペース「カーロふくしま」)</p> <p>⑤女性行政書士による女性のための無料相談会          (福島県行政書士会)</p> <p>⑥自分の灯台(Light house)を探す          (公益財団法人日本 YWCA YWCA 活動スペース「カーロふくしま」)</p>